

# 2022年度 第3四半期 決算説明資料

---

2023年2月14日

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

## 連結損益概要

(億円)

	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	7,740	8,494	754	9.7%
営業利益	104	▲228	▲332	—
経常利益	113	▲195	▲308	—
当期純利益*	24	▲257	▲281	—

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

- 売上高は、価格修正の効果発現などにより、前年同期比で増収
- 原燃料価格の高騰による厳しい事業環境が継続し、営業損失を計上
- 特別損益は、政策保有株式などの売却に伴う投資有価証券売却益や、秋田工場N1抄紙機などの停機決定に伴う減損損失などを計上

## セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年 同期比	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年 同期比
紙・板紙	3,960	4,162	202	▲22	▲220	▲198
生活関連	2,880	3,285	405	32	▲66	▲98
エネルギー	227	322	95	13	▲22	▲35
木材・建材・ 土木建設関連	455	508	53	56	63	7
その他	218	217	▲1	25	17	▲8
合計	7,740	8,494	754	104	▲228	▲332

## 増減要因内訳

(億円)

数量・売価	295	－
原燃料価格	▲670	チップ ▲104、古紙 ▲81、パルプ ▲16、重油 ▲9、石炭 ▲282、LNG ▲38、薬品他 ▲140 (価格影響 ▲473、為替影響 ▲197)
コストダウン等	100	原価改善 20、釧路・石巻停機影響 37、石炭削減効果 48 労務費 2、物流費 ▲7
その他	77	海外事業 6、減価償却 14、退職給付費用 6、受払影響ほか 51
紙・板紙事業	▲198	
生活関連事業	▲98	国内▲63：家庭紙・ヘルスケア ▲34、パッケージ ▲21、ケミカル ▲8 海外▲35：Opal ▲7、NDP ▲28
その他事業	▲36	エネルギー ▲35、木建土 7、その他 ▲8
営業利益	▲332	
営業外損益	24	金融収支 2、持分法投資損益 10、為替差額 10、その他 2
経常利益	▲308	

## 紙・板紙事業

(億円)

売上高		営業利益			
2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年 同期比	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年 同期比
3,960	4,162	202	▲22	▲220	▲198

### ● 国内

- ・洋紙の国内販売数量は、総じて需要が低調に推移し、前年同期比で減少。
- ・板紙の国内販売数量は、概ね堅調に推移したものの、工業製品や自動車関連製品など部品不足の影響により、前年同期を若干下回った。
- ・価格修正の効果が発現し、前年同期比で増収となったが、石炭やチップ、古紙など原燃料価格の上昇により営業利益は赤字となった。

### ● 海外

- ・原燃料価格や海上輸送費の上昇の影響はあるものの、製品の価格修正を進め、前年同期比で増収増益となった。

## 生活関連事業

(億円)

	売上高			営業利益		
	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年 同期比	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年 同期比
国内	1,378	1,452	74	56	▲7	▲63
海外	1,502	1,833	331	▲24	▲59	▲35
生活関連事業 合計	2,880	3,285	405	32	▲66	▲98

### ● 国内

- ・パルプ、石炭、紙パック原紙など原燃料価格高騰の影響が▲138億円。
- ・価格修正の効果発現や、長尺トイレトロールやペーパータオルの販売好調はあったものの、前年同期比で増収減益となった。

### ● 海外

- ・Opalは、段ボール製品の販売数量回復はあったものの、原燃料価格高騰や海上輸送の混乱による物流費の上昇などにより、前年同期比で減益となった。
- ・日本ダイナウェーブパッケージング（NDP）は、第1四半期に休転を実施したことなどにより、前年同期比で減益となった。

## エネルギー事業

(億円)

売上高			営業利益		
2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年 同期比	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年 同期比
227	322	95	13	▲22	▲35

- ・ 電力価格の上昇などで売上高は前年同期を上回ったものの、石炭価格の高騰などの影響により、増収減益となった。

## 木材・建材・土木建設関連事業

(億円)

売上高			営業利益		
2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年 同期比	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年 同期比
455	508	53	56	63	7

- ・ 世界的な木材の供給不足の影響などにより、国内原木の販売数量は堅調に推移し、増収増益となった。

## 連結損益概要

(億円)

	2021年度 実績	2022年度 修正予想	2022年度 前回予想	増減額
売上高	10,451	11,500	11,000	500
営業利益	121	▲240	▲200	▲40
経常利益	145	▲230	▲200	▲30
当期純利益*	20	▲480	▲250	▲230

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

- 第3四半期までの業績および直近の状況を踏まえ、予想を見直し。
- 営業利益と経常利益は、価格修正の効果発現やOpalの厳しい収益状況などを勘案し、見通しを下方修正。
- 当期純利益は、本日公表したOpal社におけるグラフィック用紙事業の撤退に伴う固定資産の減損損失約200億円を織り込んだ。



## セグメント別概要

(億円)

	売上高			営業利益		
	2021年度 実績	2022年度 修正予想	前年 同期比	2021年度 実績	2022年度 修正予想	前年 同期比
紙・板紙	5,321	5,600	279	▲56	▲270	▲214
生活関連	3,865	4,400	535	48	▲75	▲123
エネルギー	318	500	182	16	▲5	▲21
木材・建材・ 土木建設関連	645	700	55	76	80	4
その他	302	300	▲2	37	30	▲7
合計	10,451	11,500	1,049	121	▲240	▲361

## 増減要因内訳

(億円)

数量・売価	480	－
原燃料価格	▲977	チップ ▲153、古紙 ▲116、パルプ ▲24、重油 ▲11、石炭 ▲423、LNG ▲49、薬品他 ▲201 (価格影響 ▲713、為替影響 ▲264)
コストダウン等	160	原価改善 43、釧路・石巻停機影響 40、石炭削減効果 74 労務費 2、物流費 1
その他	123	海外事業 1、減価償却 20、退職給付費用 8、受払影響ほか 94
紙・板紙事業	▲214	
生活関連事業	▲123	国内▲73：家庭紙・ヘルスケア ▲39、パッケージ ▲21、ケミカル ▲13 海外▲50：Opal ▲40、NDP ▲10
その他事業	▲24	エネルギー ▲21、木建土 4、その他 ▲7
営業利益	▲361	
営業外損益	▲14	－
経常利益	▲375	

## セグメント別 営業利益推移

### ■ 第4四半期以降、諸施策の効果発現により収益は改善する見通し

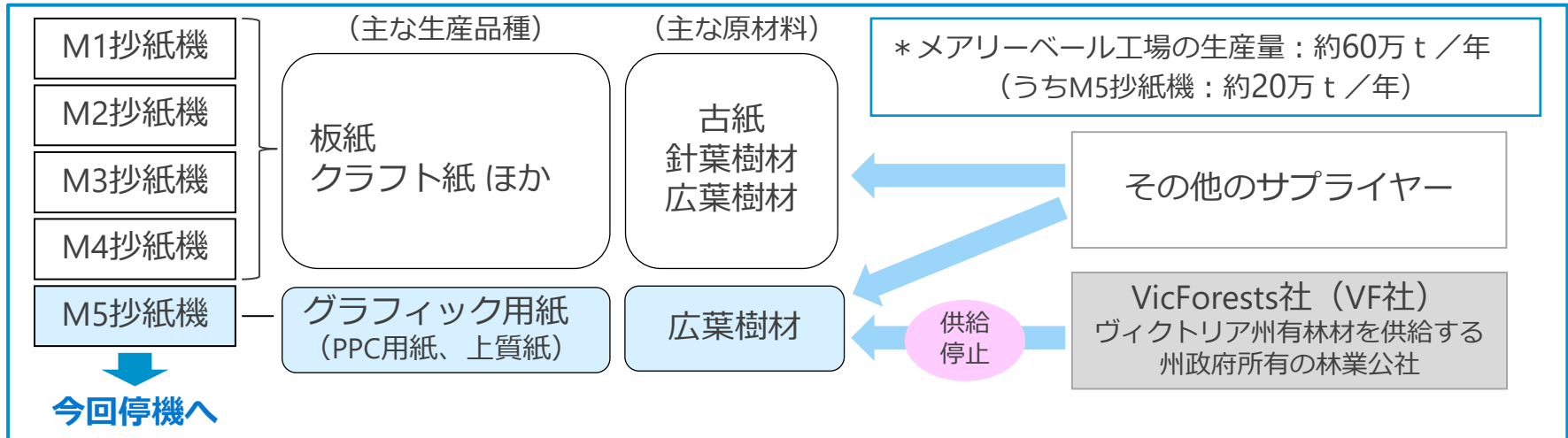
(億円)

	2022年度				2023年度に効果発現を見込む 主な収益改善策
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 見込	
紙・板紙	▲22	▲77	▲121	▲50	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産体制再編成等で約100億円コストダウン</li> <li>価格修正（洋紙、板紙）</li> </ul>
生活関連	▲26	▲27	▲13	▲9	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭紙・ヘルスケア： 価格修正、パルプのグループ間調達拡大</li> <li>紙パック、ケミカル、NDPは堅調</li> </ul>
エネルギー	▲3	▲16	▲3	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>勇払エネセン*の営業運転開始（2023年2月）</li> <li>石巻エネセン*のバイオマス高混焼化</li> </ul>
木材・建材・ 土木建設関連	19	20	24	17	
その他	3	9	5	13	
合計	▲29	▲91	▲108	▲12	

\* 勇払エネセン：勇払エネルギーセンター、石巻エネセン：日本製紙石巻エネルギーセンター

# Opal社におけるグラフィック用紙事業の撤退について

## ●Opal社 メアリーベール工場



### ■経緯

- ・ 2021年～ VF社と環境保護団体との間で希少動物の保護に関する裁判が行われる
- ・ 2022年11月 環境保護団体の訴えを認める判決が下り VF社からの材供給が停止
- ・ 現在 M5抄紙機と関連設備は一時停止中

### ■Opal社の対応

- ・ VF社の材受け入れを停止後、操業継続のための他の原材料調達手段を検討
- ↓
- ・ 代替調達は不可能との結論に至り、**グラフィック用紙事業の撤退を決定**

### ■事業撤退に伴う影響

- ・ 固定資産の減損損失等：約200億円 \*監査前 (2022年度決算にて発生する見込み)

### ■メアリーベール工場の今後

- ・ 2023年中にグラフィック用紙事業からの撤退を完了し、成長が見込まれるパッケージ用紙事業に特化した工場とし、Opal社の一貫パッケージサプライヤー戦略を強化

# 参考資料

---

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

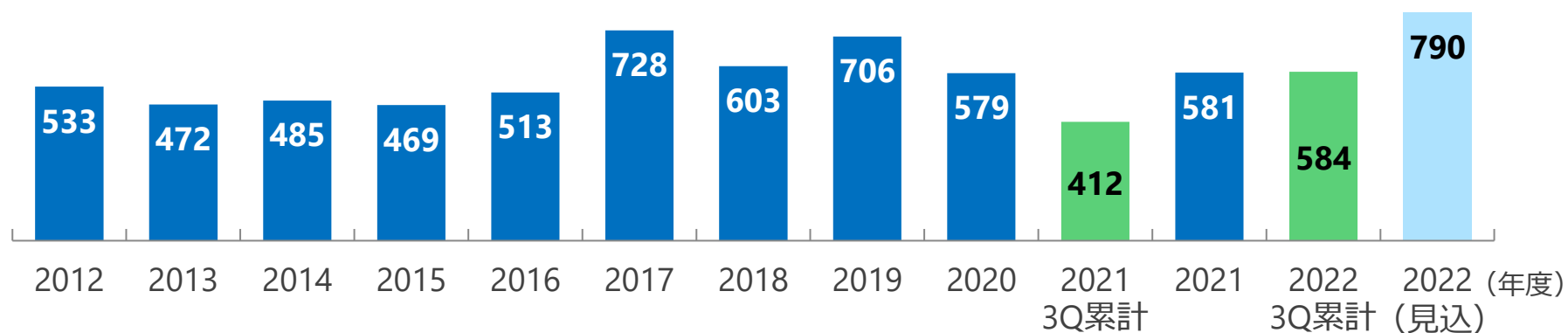
(千 t)

	2021年度 1Q-3Q累計	2022年度 1Q-3Q累計	対2021
新聞用紙	499	455	▲8.6%
印刷用紙	905	803	▲11.3%
情報用紙	321	305	▲5.0%
その他	242	239	▲0.9%
国内	1,966	1,803	▲8.3%
輸出	196	171	▲12.8%
<b>洋紙 合計</b>	<b>2,162</b>	<b>1,973</b>	<b>▲8.7%</b>
段ボール原紙	1,246	1,240	▲0.5%
紙器用板紙他	251	247	▲1.7%
国内	1,497	1,487	▲0.7%
輸出	149	123	▲17.5%
<b>板紙 合計</b>	<b>1,646</b>	<b>1,610</b>	<b>▲2.2%</b>
<b>洋紙・板紙 合計</b>	<b>3,808</b>	<b>3,583</b>	<b>▲5.9%</b>

\* 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計（衛生用紙除く）

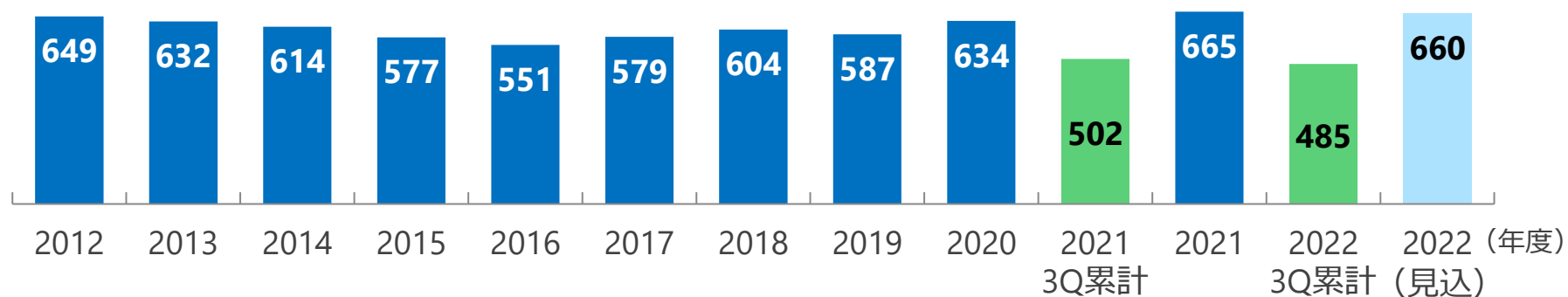
## 設備投資額

(億円)



## 減価償却費

(億円)



(億円)

	2022年度			2022年度		
	1Q	2Q	3Q	上期実績	下期予想	通期予想
紙・板紙	1,320	1,394	1,448	2,714	2,886	5,600
生活関連	1,010	1,113	1,162	2,123	2,277	4,400
エネルギー	82	115	125	197	303	500
木材・建材・ 土木建設関連	167	167	174	334	366	700
その他	69	72	76	141	159	300
合計	2,648	2,861	2,985	5,509	5,991	11,500



(億円)

	2022年度			2022年度		
	1Q	2Q	3Q	上期実績	下期予想	通期予想
紙・板紙	▲22	▲77	▲121	▲99	▲171	▲270
生活関連	▲26	▲27	▲13	▲53	▲22	▲75
エネルギー	▲3	▲16	▲3	▲19	14	▲5
木材・建材・ 土木建設関連	19	20	24	39	41	80
その他	3	9	5	12	18	30
合計	▲29	▲91	▲108	▲120	▲120	▲240

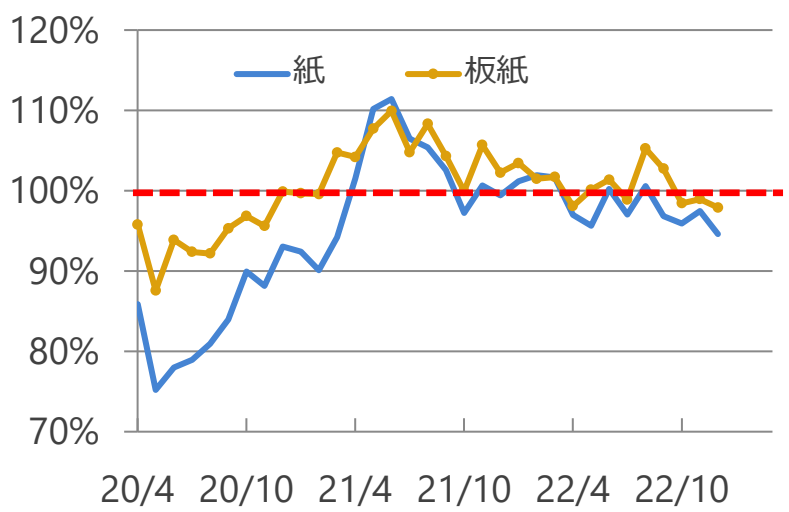
## 紙・板紙の国内出荷高と輸出入

(千t)

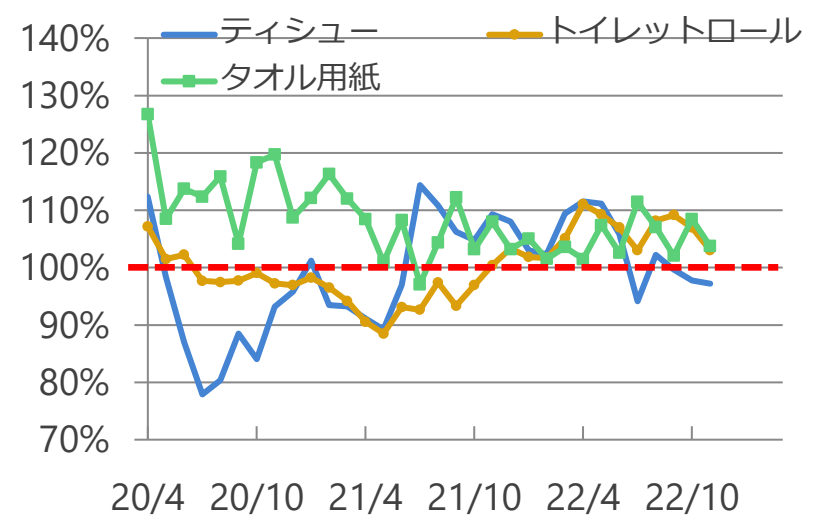
	国内出荷高		輸出		輸入	
	数量	対2021	数量	対2021	数量	対2021
新聞用紙	1,385	▲7.5%	0	—	1	▲53.9%
印刷・情報用紙	4,080	▲3.7%	390	▲9.7%	387	▲24.0%
塗工印刷用紙*	2,185	▲3.2%	289	▲12.7%	49	▲70.4%
非塗工印刷用紙	1,082	▲5.9%	84	3.4%	12	▲55.1%
情報用紙	814	▲1.9%	18	▲13.8%	325	3.0%
その他	2,354	1.9%	210	▲12.5%	39	▲7.7%
<b>紙 合計</b>	<b>7,819</b>	<b>▲2.8%</b>	<b>600</b>	<b>▲10.7%</b>	<b>426</b>	<b>▲22.8%</b>
段ボール原紙	6,927	▲0.1%	702	▲2.9%	32	1.5%
紙器用板紙他	1,585	1.0%	38	▲23.7%	189	▲1.9%
<b>板紙 合計</b>	<b>8,512</b>	<b>0.1%</b>	<b>740</b>	<b>▲4.3%</b>	<b>221</b>	<b>▲1.4%</b>
<b>紙・板紙合計</b>	<b>16,331</b>	<b>▲1.3%</b>	<b>1,340</b>	<b>▲7.3%</b>	<b>647</b>	<b>▲16.7%</b>

※ 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

## メーカー国内出荷量(対前年)



## 衛生用紙生産高(対前年)



## 塗工紙輸入推移

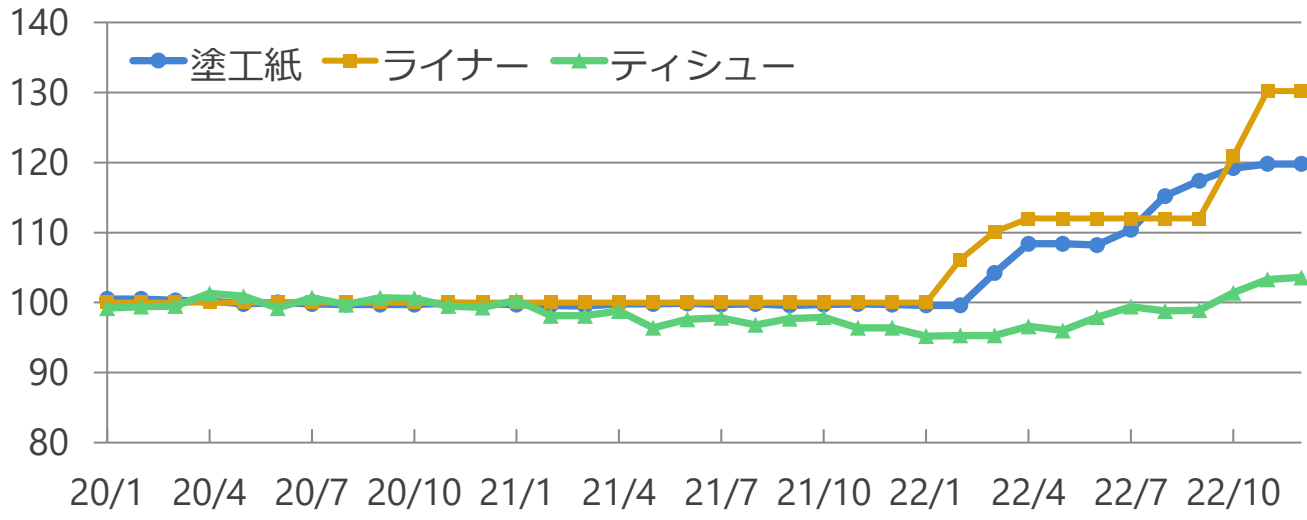


## PPC用紙輸入推移



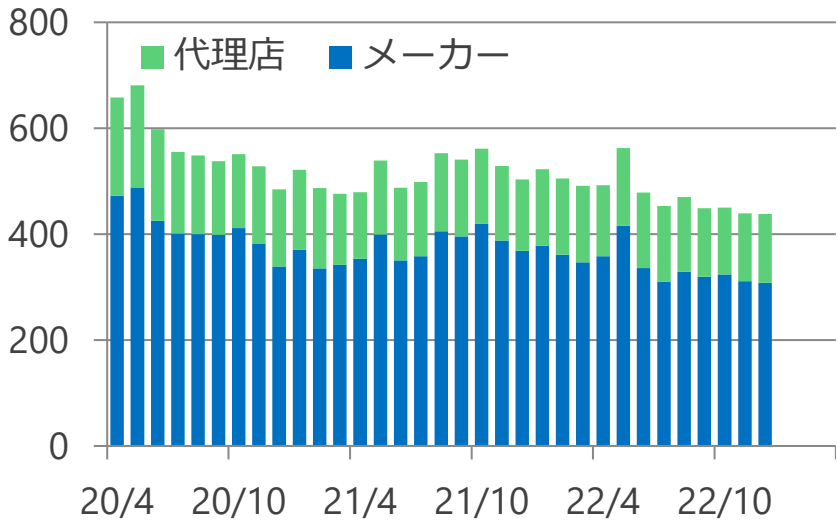
## 品種別価格動向

(2020年 = 100)



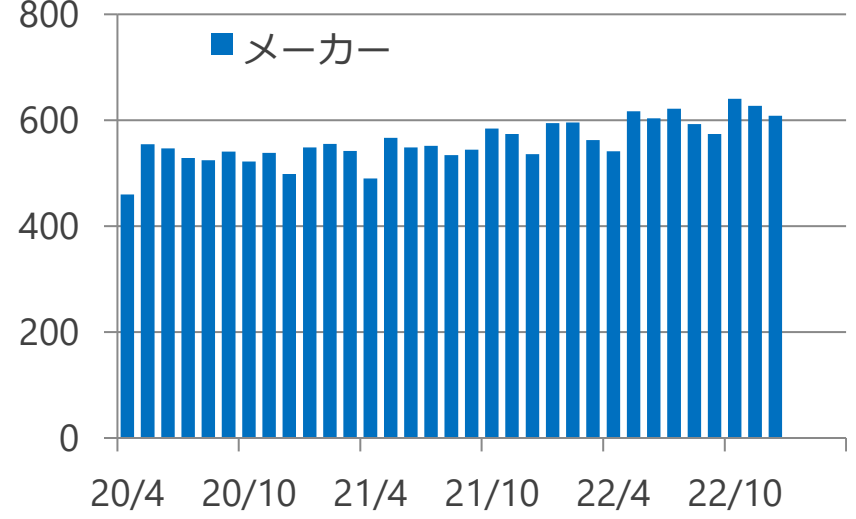
## 塗工紙在庫高推移

(千 t)



## 段原紙在庫高推移

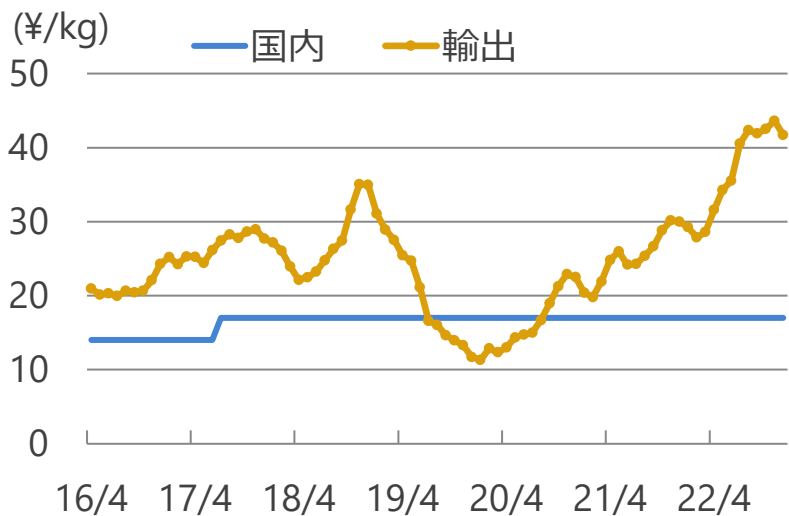
(千 t)



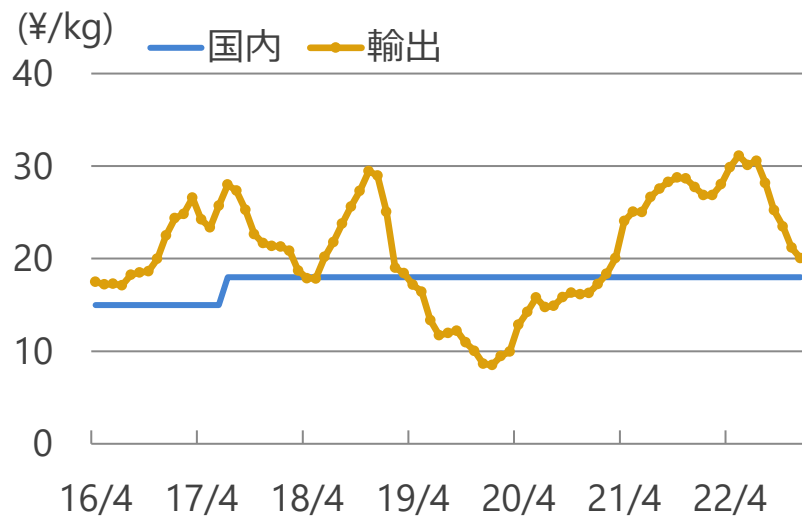
出所：日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」



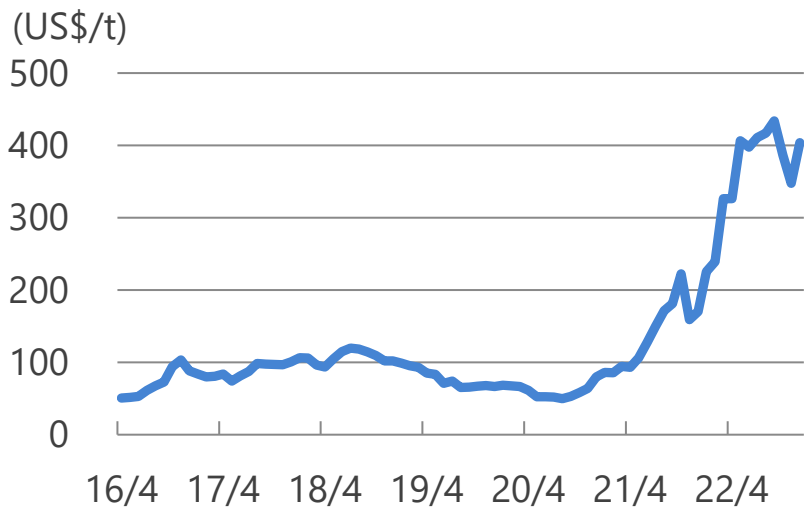
## 新聞古紙



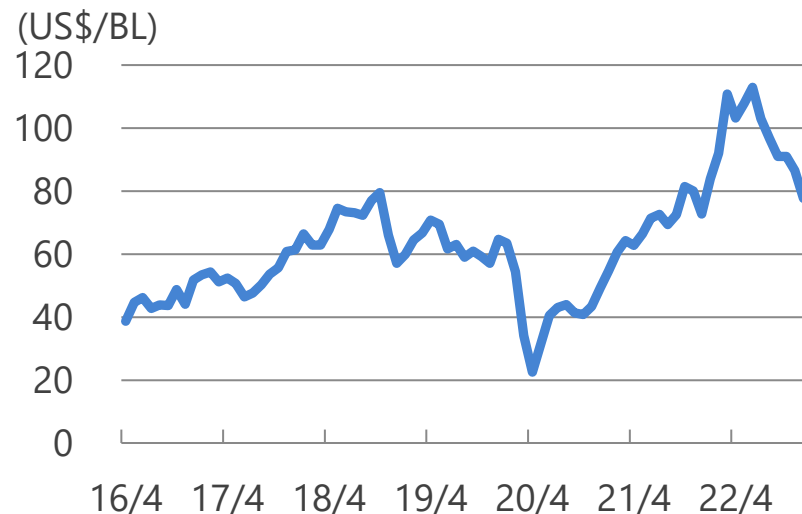
## 段ボール古紙



## 石炭



## 原油



# 日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

## <注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

## 日本製紙株式会社